

平成 14 年 11 月 21 日

各 位

大阪市北区中之島4丁目3番36号玉江橋ビル
クボテック株式会社
取締役社長 久保 哲夫
(コード番号 7709)
連絡先 取締役管理部長 柿下 尚武
T E L (06) - 6443 - 1815

韓国液晶メーカーより、第2期に引き続き、 第5世代液晶ライン用ライン一括モニタリングシステム (L O O C S) を受注

韓国では第5世代液晶ラインの建設が加速化しております。

この度、当社は韓国の液晶メーカーより、第2期に引き続き、第5世代液晶ライン向け「ライン一括モニタリングシステム LOOCS(注1)」を受注致しましたので、お知らせ致します。

受注金額は約4億円強になります。

納期は今期の予定です。

尚、今回の受注により通期の業績予想を以下のように変更致します

売上高 50億円

経常利益 7億円

注1：

LOOCS：Line Observation & Optimization Control System（ラインの観察&最適化・制御システム）
当社が提唱するラインモニタリングシステムのことで、多種多様の検査装置を独立して設置するのではなく、すべてをネットワークで一元管理して、リアルタイムにモニターし、最適化することです。

15年3月期通期業績予想数値の修正（平成14年4月1日～平成15年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年10月28日発表)	4,600	650	350
今回修正予想(B)	5,000	700	380
増減額(B-A)	400	50	30
増減率(%)	8.7	7.7	8.6
前期(平成14年3月期)実績	3,114	465	255

(注) この資料に記載されている平成 15 年 3 月期の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、これらの業績見通しにのみを依拠することは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

現在当社の主たる事業活動領域は液晶等のディスプレイ検査機システムですが、生産効率化への寄与、新素材への対応など、急速な技術開発を特徴とする市場であり、需要の変動、設備投資の動向、価格、競争状況、経済環境の変化、その他多くの要因が業績に影響を与えることがあります。また当社は国内だけでなく海外においてもビジネスを行っております。現在はほぼ円貨建て取引をしておりますが、将来外貨建て取引が増え、為替レートの変動が業績に影響を与える状況になる可能性もあります。

以上